

# ふかうら

No.77

3 2024年  
月定例会

令和6年5月24日発行

## 議会だより



大きくなって帰ってきてね!

西海岸衛生処理組合負担金 令和6年度予算決まる ▶ 2

ここをチェック 当初予算などを審査! ▶ 6

ここが聞きたい! 一般質問 6人の議員が質問 ▶ 13

議員定数 1人削減決まる 12人→11人 ▶ 26

深浦町議会チャンネル

検索



ホームページ: <https://www.town.fukaura.lg.jp/categories/bunya/gikai/>

# 新年度予算

## 西海岸衛生処理組合負担金

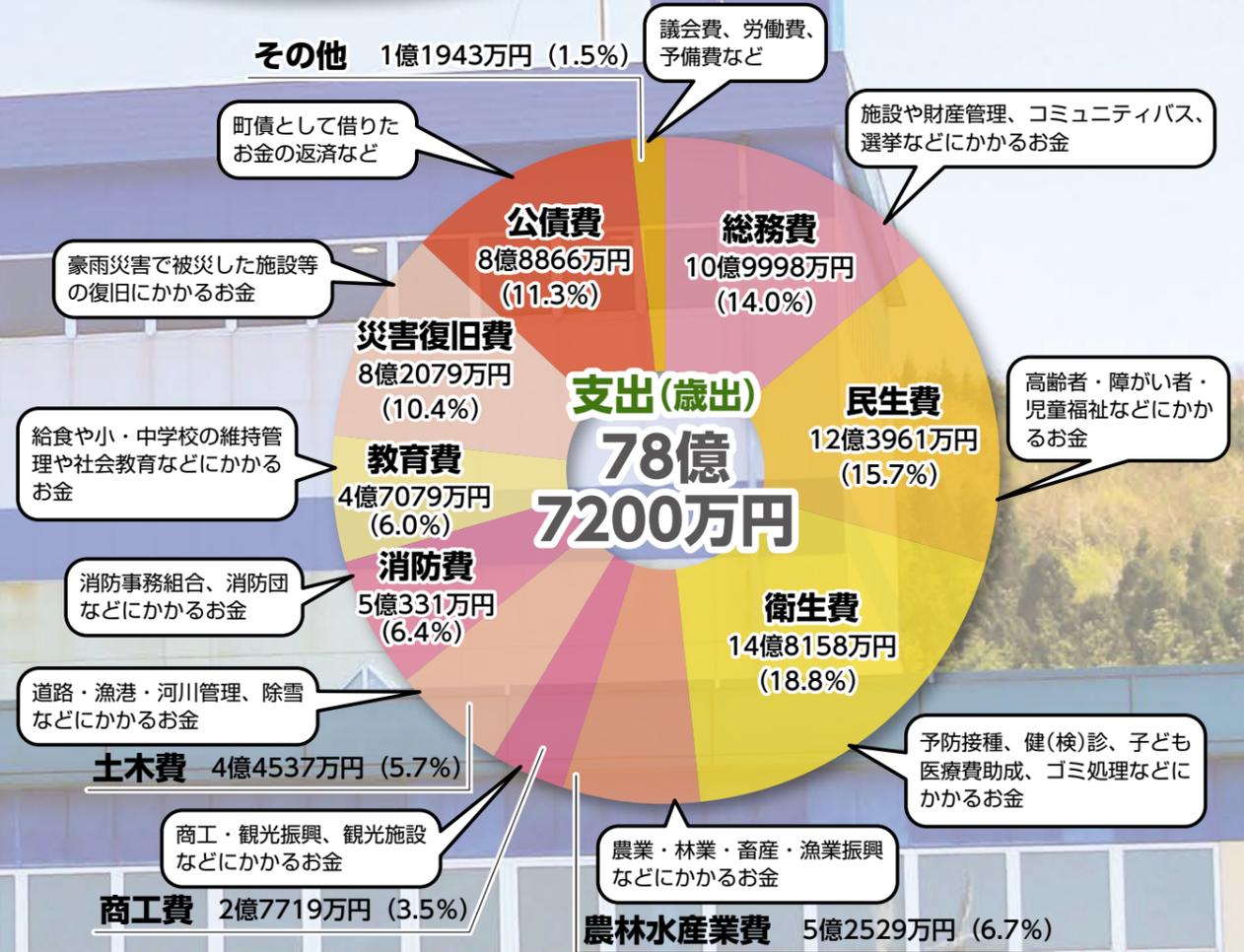
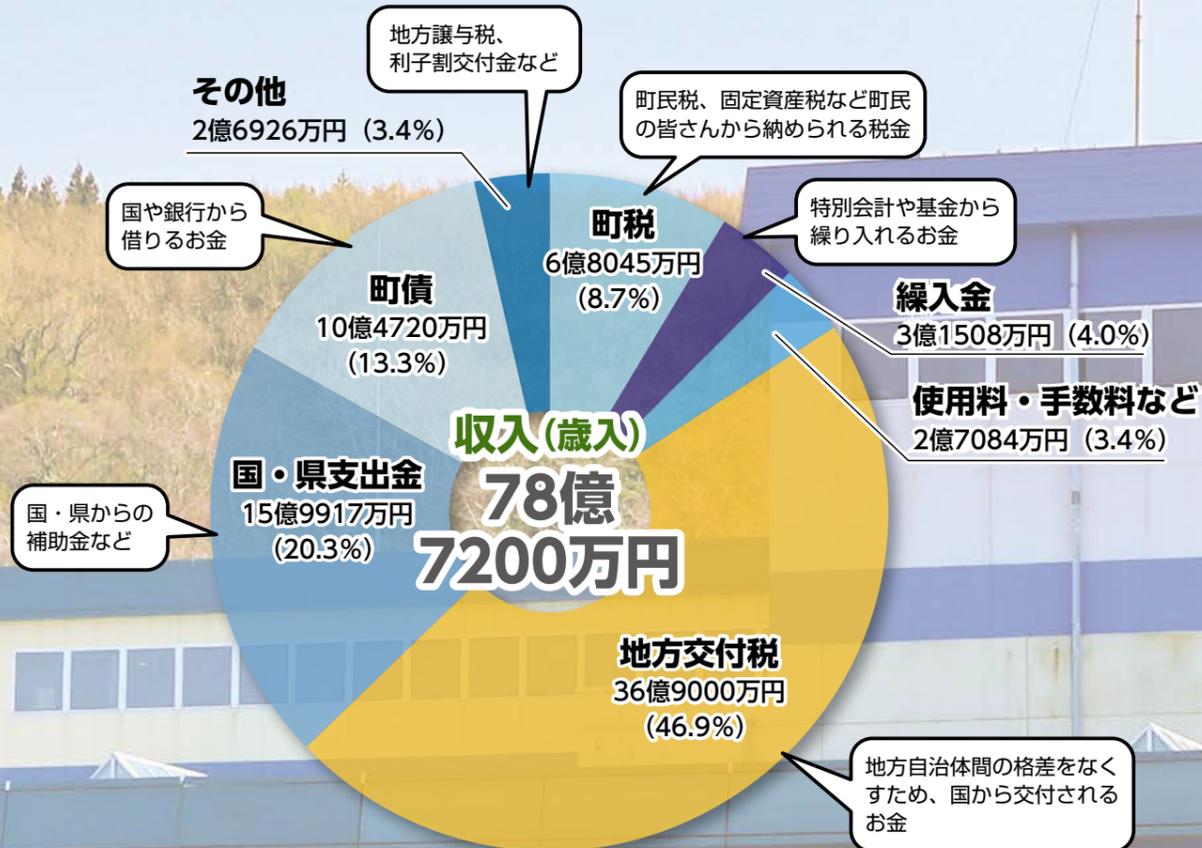
アフライ焼却施設大規模改修費、ごみ・し尿処理費

# 8億4397万円

# 一般会計歳出 78億7200万円

## 前年度比6.7%増

### 一般会計予算の概要



#### ◆議案7号から第8号まで 令和6年度水道・下水道事業会計予算

会計名	令和6年度	令和5年度	比較	伸率(%)	
議案第7号 水道事業会計	収益的収入	3億7425万円	3億8177万円	△752万円	△2.0
	収益的支出	3億9923万円	3億9458万円	465万円	1.2
	資本的収入	3億48万円	2億1000万円	9048万円	43.1
	資本的支出	5億256万円	4億1111万円	9145万円	22.2
議案第8号 下水道事業会計	収益的収入	2億1693万円	0	2億1693万円	皆増
	収益的支出	2億4657万円	0	2億4657万円	皆増
	資本的収入	1億6082万円	0	1億6082万円	皆増
	資本的支出	1億8882万円	0	1億8882万円	皆増

#### ◆議案1号 令和6年度一般会計予算

会計名	令和6年度	令和5年度	比較	伸率(%)
議案第1号 一般会計	78億7200万円	73億7500万円	4億9700万円	6.7

#### ◆議案2号から第6号まで 令和6年度特別会計予算

会計名	令和6年度	令和5年度	比較	伸率(%)	
議案第2号 国民健康保険事業特別会計	事業勘定	11億2680万円	11億3090万円	△410万円	△4.0
	直診勘定	2億8340万円	2億5690万円	2650万円	10.3
議案第3号 後期高齢者医療特別会計	1億6020万円	1億5670万円	350万円	2.2	
議案第4号 介護保険特別会計	16億3860万円	15億9660万円	4200万円	2.6	
議案第5号 訪問看護ステーション特別会計	1860万円	1350万円	510万円	37.8	
議案第6号 財産区特別会計	50万円	50万円	0	0	
	下水道事業特別会計	0	2億4790万円	△2億4790万円	皆減

## 令和6年度一般会計予算 歳出の主なもの

予算に関する特別委員会で令和6年度予算案を慎重に審議しました。その中の一般会計歳出の主なものをご紹介します。  
(P6~8に関連記事)

予算額は、令和6年度のみ金額であり、全体事業費ではありません。複数年度事業もあります。また、金額は千円単位を四捨五入しています。



**7億193万円**

### 公共土木・農地農業用施設災害復旧

令和4年及び令和5年の豪雨で被災した施設の復旧を図ります。



**8億4397万円**

### 西海岸衛生処理組合負担金

ごみ、し尿処理やアフライ焼却施設大規模改修に本町も負担し環境衛生を図ります。



**4020万円**

### アオーネ白神十二湖コテージ建具等改修工事

老朽化したコテージ建具、和室北棟屋根、コテージ外壁塗装、外灯LED化改修をします。



**7000万円**

### スクールバス運転管理業務委託

町内小中学校児童・生徒の登下校送迎業務を委託します。



**8900万円**

### 北金ヶ沢地区漁業集落環境整備

町道北金ヶ沢20号線及び第二北金ヶ沢踏切・拡張と側道の整備を図ります。



**2億3983万円**

### 子どものための教育・保育給付費

小学校就学前の子供が保育所や幼稚園、認定こども園等を利用した場合に支給します。



**18万円  
13万円**

### 新規! がん患者医療用補整具購入補助金 新生児聴覚検査費助成

がん患者の精神的・経済的負担を軽減し、社会生活を支援するため、医療用ウィッグ・胸部補整具の購入費補助及び赤ちゃんの先天性難聴を早期発見するための検査費を助成します。



- 商工費
  - ・商業振興対策事業補助金(全町大売出し) 400万円
  - ・町特産品販売促進事業補助金 100万円
  - ・深浦宿泊キャンペーン事業補助金 1200万円
  - ・沸壺の池環境整備工事ほか 1117万円
  - ・海上花火大会実行委員会補助金 500万円
- 土木費
  - ・住環境リフォーム補助金 800万円
  - ・町道深浦45号線道路改良工事 1350万円
  - ・橋梁整備工事(2橋) 2650万円
- 教育費
  - ・高校生通学支援金(125人分) 375万円
  - ・深浦校舎活用基本設計業務委託 454万円
  - ・美術館排煙窓改修工事 439万円

- 【歳出の主なもの】
- 総務費
  - ・コミュニティバス運行業務委託 1999万円
  - ・ふるさと納税返礼品 3170万円
  - ・移住支援金・若者等住宅整備補助金ほか 928万円
  - ・民生費
    - ・地域子育てセンター・延長保育ほか 1377万円
    - ・放課後児童クラブ運営 1331万円
- 衛生費
  - ・子ども医療給付 1560万円
  - ・健康診査・がん検診委託 2323万円
- 農林水産業費
  - ・ため池整備負担金(切明池) 1540万円
  - ・農道橋点検診断業務委託 1690万円
  - ・新規就農者育成総合対策助成金 900万円



**3740万円**

### 中型ロータリー除雪車購入

現在使用しているロータリー除雪車の老朽化に伴い更新し、引き続き町道の排雪から拡幅除雪を行い、シーズンを通して安全な通行確保を図ります。



**【庁舎の光熱水費】**  
**太陽光発電などで電気料節約を**

**問** 藤田委員  
 町が管理している施設の光熱水費の総額は、PPAモデルの太陽光発電などで電気料を節約する考えは。

**答** 鶴田財政課長  
 庁舎管理費（一般会計）の光熱水費だけでも、1300万円を超える。物価高騰の影響もあるが、対策として、庁舎、その他集会所などの照明設備のLED化で軽減を図る。

**問** 佐藤副町長  
 現在、町内で稼働している大型風力発電は、約6万5000世帯を賄えるくらい電力があるので、民間事業者の電力を何とか町の施設にも供給できる仕組みができればと考えている。

**【集会所の集約化】**  
**集約して電気代などの削減を**

**問** 今委員・藤田委員  
 各地区が高齢化で自治会の運営が危ぶまれている。各地区の集会所を集約すると電気代などが削減できると思うが。

**答** 鶴田財政課長  
 集会所は町内30か所ある。集約化で様々な経費削減が図れると思うているが、避難施設や選挙の投票所にもなっていることから、関係性も十分検討していきたい。

**【書かない窓口化】**  
**導入する考えは**

**問** 岩根委員  
 最近、書かない窓口化を新聞テレビ等で聞くが、町民に特に年配の方々には、画期的なことだと思うが、導入する考えは。

**答** 中原町民課長  
 書かない窓口については、今後検討していきたい。

**問** 鶴田財政課長  
 当初予算編成で検討した。視察もしたが、経費が相当かかることが分かった。今後、ほかの動向を見ながら検討は続けたい。

**【指定ごみ袋】**  
**さらに小さいごみ袋を**

**問** 大川委員  
 現在の小さいごみ袋より、さらに小さいごみ袋が欲しいという声がたくさんあるが、何とか検討できないか。

**答** 中原町民課長  
 確かに要望がある。そこで業者に聞いたところ、作れないこととはないが単価がさらに高くなるという業者や、ごみ袋に記載する文字が小さくなり過ぎて作れない業者があって、町では作れないことしたが、検討していきたい。

**【補聴器・ウイック購入助成】**  
**制度内容と周知方法は**

**問** 八木委員・七戸（均）委員  
 小さい事業だが、補聴器購入費用助成及びがん患者医療用補聴器購入助成への予算措置がされたが、制度内容と周知方法が、がん患者への補聴器の助成を受けるための手続等は。

**答** 赤石福祉課長  
 町に住所を有しており、両耳の聴力レベルが30デシベル以上70デシベル未満で、身体障害者手帳の交付対象にならない方や補聴器相談員から補聴器が必要と診断された方などを条件に1台当たり3万円を給付したい。今定例会で議案可決後、周知徹底に努めたい。

**問** 八木橋健康推進課長  
 今定例会で、議案が可決したら要綱等を制定する予定。現在の案は、医療用ウイックと乳房補整具購入費用の2分の1、ただし3万円を上限として、1人につき、それぞれ1回ずつと考えている。

**ここをチェック**

**当初予算など審査！**

**令和6年度歳入歳出予算・令和5年度補正予算などを審議**

**予算に関する特別委員会**

副委員長 今勝吉  
 委員長 岩谷司

予算に関する特別委員会は、委員長に岩谷 司議員、副委員長に今 勝吉議員が選任され、3月11日から13日までの3日間にわたって、付託された議案第1号令和6年度深浦町一般会計予算（案）から議案第87号深浦町農業委員会委員の任命の件までの議案87件、諮問第1号人権擁護委員の推薦につき意見を求めるの件1件、報告第1号専決処分した事項の報告及びその承認を求めるの件1件、合わせて89件について審査しました。審議の過程では、各般にわたって十分に議論が尽くされ、多くの意見・要望事項が提言されました。

**令和6年度当初予算など 委員はここに注目**

**質疑応答**

**【学校給食無償化】**  
**町も実施するのか**

**問** 八木委員・工藤委員  
 県知事は学校給食の無償化を話しているが、町も10月から実施するのか。また、県が補助する内容は。

**答** 熊谷教育課長  
 実施する方向で検討している。児童・生徒分の給食費に県が10分の10の率で交付する。単価は、県の平均値の1食分小学校2800円、中学校3100円。町は、県の平均より小学校20円、中学校10円高いので、その分を負担する。

**問** 今委員  
 昨年、いわさき小学校に入学した児童がゼロだった。今年、管内の小学校に何人入学するのか。また、小学生が給食をのどに詰まらせなくなったが、各校へどんな通達をしたのか。

**答** 草創教育長  
 12月現在で、深浦小学校14名、いわさき小学校9名、修道小学校に8名が入学予定。若干の増減はあると思う。

**問** 熊谷教育課長  
 県から食べる時の注意など通知が来たので、各学校へ周知した。また新入生にも、食べ方などを指導するよう各学校へお願いをしたい。

**【小学校入学者や給食事故】**  
**何人入学するの？ 学校への注意喚起は**

# 3月定例会から タブレット端末が導入されました！ 利便性を活かして議会機能の強化を推進します！

深浦町議会では、議会の効率的な運営とペーパーレス化等の推進のため、令和6年2月に町から議員全員にタブレット端末が貸与されました。

これにより議案や資料等を電子化し、紙資料や送料の削減、会議日程の迅速な連絡や議員間の情報共有が図られるほか、リモート研修や情報収集、調査・研究活動の向上に活用していきます。

また、今後は、さらに災害時や非常時であっても議会活動を停滞させない、タブレット端末を活用したオンラインでの会議や取組の拡大を含め、議会活動がより一層効率化・活性化するよう、全国の先進事例を研究しながら運用していきます。



3月定例会では、紙資料と併用でしたが、早期本格始動に向け議員各位、執行部も含めて議会ICT化の推進を図ります！

## 導入により期待される効果！



### 議会の活性化・議員の資質向上

- ・ 議案審議、委員会活動等での活用
- ・ 町民への迅速・的確な情報提供
- ・ 例規集・調査等資料の充実



### 議会運営の効率化

- ・ 膨大な紙資料や送料の削減
- ・ 議会のスケジュール等の情報の正確・迅速な共有
- ・ 大量の資料整理、持ち運びが不要
- ・ 資料準備のための事務作業の軽減



### 危機管理体制の強化

- ・ 大規模な災害の発生、感染症のまん延時のオンライン会議の開催
- ・ 災害状況の共有
- ・ 安否確認



◆ 諮問第1号  
人権擁護委員の推薦につき意見を求めるの件  
候補者(1)として  
**小野 規子 氏** (北金ヶ沢2区) を法務大臣に推薦することに同意しました。  
任期は、令和6年7月1日から3年間です。



◆ 議案第88号  
教育委員会委員の任命の件  
教育委員に  
**相馬 真司 氏** (5区) を任命(再任)することに同意しました。  
任期は、令和6年5月14日から4年間です。

## 【带状疱疹の予防接種】 ワクチン接種への町の助成は

**問** 八木委員  
80歳までに3人に1人が带状疱疹を発症すると言われていて、ワクチン接種をすれば発症予防が極めて高いが、任意接種の2回接種で約4万円と高額なため、町で助成等は考えられないか。

**答** 八木橋健康推進課長  
予防接種法に基づいて町が実施する定期の予防接種ではない。各自が任意で受ける予防接種となっている。町の助成については、予防接種の副反応等による健康被害など、ほかのワクチンと同様に安全性を考慮する必要があるため、国の動向を見ながら総合的に判断して検討したい。



## 【合葬墓】 基金を活用して整備しては

**問** 八木委員  
合葬墓について、アンケートに答えた7割近い方が整備をした方がいいとの結果だった。霊園整備事業基金を活用することも検討してはどうか。

**答** 中原町民課長  
合葬墓の整備については、今後、検討委員会等を立ち上げて検討していく。



## 【耕作放棄地】 耕作放棄地など 実態調査委は ブロックコリーを 作っては

**問** 八木委員  
耕作放棄地や荒廃農地の実態調査はやっているのか。ブロックコリーが指定野菜へ追加が決定したが、耕作放棄地など、農地を集約してブロックコリーを作ることが検討できないか。

**答** 山本農林水産課長  
農業委員会が毎年農地ハトリールをしている。ブロックコリーが指定野菜になることで野菜価格の安定や価格下落時、不作時の価格補償が手厚くなるが、産地指定を受けなければいけない。農協や生産者と検討していきたい。

## 【イルミネーション】 3年に1回ぐらいで 大きく

**問** 斉藤委員  
町内の3か所に飾るイルミネーションを3年に1回ぐらいで大きく予算も取ってやったらどうか。

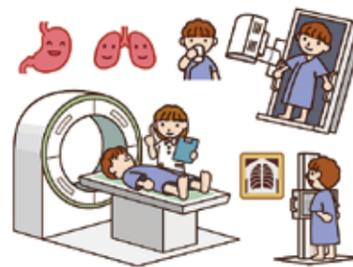
**答** 神林観光課長  
最初に実施した令和2年度は、電飾の購入も含めて800万ほどで、翌年は、500万ほどかけてやった。数年にまとめて規模を大きくするなど、今後検討したい。



## 【がん検診精密検査】 要精検査の受診率 向上の取組や対策は

**問** 八木委員  
県では、町のがん検診で精密検査が必要となった人に受診費用を県と町が半分ずつ負担する制度を始めるようだが、要精検査の受診率を向上させるための取組や対策は。

**答** 八木橋健康推進課長  
要精検査の未受診者に対して、1回目の受診勧奨の通知を11月中旬に行っている。それでも受診しない方や返事がない方には2回目の受診勧奨を2月の中旬に行っている。今後は、3月中旬に受診状況が不明な方に、電話連絡して確認していく。



第132回定例会 上程議案と採決状況一覧

Table with columns for members (結, 八木, 七戸, 福沢, 大川, 岩谷, 岩根, 今, 大高, 藤田, 工藤, 七戸, 齊藤) and rows for various proposals (e.g., 令和6年度当初予算議案, 令和5年度補正予算議案, 条例に関する議案).

深浦町議会 第132回定例会

第132回定例会は、3月8日から15日までの8日間の会期で開催されました。本定例会では、令和6年度当初予算関係議案8件、令和5年度補正予算関係議案7件、条例関係議案16件、公の施設の指定管理者の指定の件37件、工事請負契約関係議案5件、深浦町農業委員会委員の任命の件14件、深浦町教育委員会委員の任命の件1件、諮問1件、報告1件、発議3件、合わせて93件を審議しました。

3/8 (金) ・全議案一括上程
・提案理由の説明



提案理由等の動画が視聴できます。



YouTube「深浦町議会チャンネル」
インターネット配信サービスYouTube(YouTube)で録画配信が視聴できます。

3/9 (土) ~ 3/10 (日) ・休会

3/11 (月) ・一般質問



大高恒蔵 八木 史 大川清光 今 勝吉 工藤博利 藤田一則

3/11 (月) ~ 3/13 (水) ・予算に関する特別委員会



委員長 岩谷 司 副委員長 今 勝吉

3/14 (木) ・休会

3/15 (金) ・議案審議、採決



議案審議等の動画が視聴できます。



# わか町のここが聞きたい



**問** 町長  
道路交通法の改正により、令和5年4月1日からすべての自転車利用者にヘルメット着用が義務が課された。ヘルメットの購入助成、補助については、国や県における制度化や、近隣市町村の動向など調べつつ、検討していきたい。

**問** 大高議員  
小中学生及び65歳以上の方々に自転車用ヘルメット購入の助成あるいは全額補助できないか。

自転車用ヘルメット購入に助成などできないか  
『国・県等の動向を調べて検討したい』

**答** 町長  
当町では、母子保健法で義務付けられている1歳6か月児及び3歳児の健康診査のほか、生

**問** 大高議員  
国で1か月児と5歳児の健康診査を公費で実施を考えている。現在、全国の3割近い市町村で実施しているようだが、当町でもできないか。

『1か月児は現在のままで、5歳児は実施が困難』



1か月児と5歳児の健康診査を実施できないか



後3、4か月児及び9、10か月児の健康診査を年6回実施している。また、乳児は、医療機関で2回健康診査を無料で受診できる「乳児一般健康診査」があるので、1か月児の健康診査は、それを利用している。5歳児の健康診査については、発達、情緒、社会性、集団行動で課題のあるお子さんを早期に見出し、支援につなげる重要な機会だと認識しているが、健診方法や、健診後のフォローアップ体制、医師や心理士等の人材確保などの課題から、現状では実施が困難となっている。そのため、保健師が妊娠から出産後健診等に至るまで家庭訪問などでお子さんの発達を確認し、必要に応じて早期に療育機関や児童相談所につなぐなど、指導体制の充実に努めている。



## 定例会を傍聴しませんか

定例会は、誰でも傍聴することができます。町政に関する予算や条例の提案、議員の質問・質疑、採決などが行われます。今回は、6月上中旬に定例会を開く予定ですので、皆さんの傍聴をお待ちしております。



# わか町のここが聞きたい

## 問 高レベル放射性廃棄物の処分場の調査申し入れは

**答** 当町への文献調査の申し入れはない



おお たか つね ぞう  
大高 恒藏 議員



質問者の動画が視聴できます。



**問** 大高議員  
国では候補地は多い方が望ましく全国的に広く応募を期待しているが、我が町に高レベル放射性廃棄物の最終処分場の文献調査の申し入れがあったものか。

**答** 町長  
国では、2000年に最終処分場の全国公募が開始され、北海道の寿都町と神恵内村が応募を受け入れをし、現在、概要調査の候補地として示されている。資源エネルギー庁と原子力発電環境整備機構による対話型全国説明会が、2024年1月までに全国で約190回開催され、その中で、最終処分事業について関心を示す市町村があれば、全国規模の文献やデータなどが提供される。現時点では、国との対話活動の実績がなく、当町への文献調査の申し入れはない。

**問** 大高議員  
認知症高齢者などが行方不明になった際に早期発見できるように、全町に毎年計画的に防犯カメラを設置できないか。

『必要な箇所への設置を検討していく』  
全町に防犯カメラを設置できないか



**答** 町長  
昨年の2月に鯉ヶ沢地区防犯協会の事業で、歴史民俗資料館・美術館の屋外に防犯カメラを設置した。防犯カメラの設置には、町民のプライバシーなどから青森県が策定しているガイドラインや町独自のガイドライン等を制定して、適正な設置・運用に努めなければならぬ。今後も、鯉ヶ沢警察署や鯉ヶ沢地区防犯協会の事業を活用しながら、必要な箇所への設置を検討していく。

# わか町のここが聞きたい

**問 町長**

①深浦駅の駅係員による営業は、3月16日から終りとなり、以降は、終日不在となる。また、深浦駅のトイレは、令和6年4月以降、町が維持管理する。駅舎の利活用については、外観のリフォームと併せ、JR東日本秋田支社と協議を重ねた上で、その利活用を検討する。なお、駅前の町有地の利活用等は今のところ考えはない。

②十二湖の森の森林セラピーロードには4つのおすすめコースがあり、そのうち一番人気の「青池・沸壺の池コース」は被害も少なく利用が可能となっているが、「王池コース」は散策道が崩落して通り抜けできない。また、「金山の池ショートコース」及び「金山の池・糸畑の池

ロングコース」は、スタート地点の十二湖リフレッシュ村が、町道十二湖青池日暮線の崩落で休業しているため「森の物産館キヨロ」に変更して実施している。この他の大きな被害のあった日本キャニオン展望所からの東北自然歩道は、4月以降利用できる見込みだが、町道十二湖青池日暮線は工事を発注したが、未だ工事が始まっていない。日本キャニオン溪谷部に下る小夜の池線の復旧は、打開策が見つからず、今後十二湖森の会と現地調査を行い、う回路など検討したい。金山の池連絡橋の復旧工事は新年度予算に計上した。

また、森林セラピーの活動は運営している「十二湖森の会」によると、ガイドの高齢化や新規ガイドの加入がなく、現在、5名程度まで減っている。高齢化・マンパワー不足を念頭に、今後の事業の在り方を検討していきたい。

③昨年度に、沢辺地区の漁業者が不定期だが森山海岸やガンガラ六の遊覧案内をしていた。波浪状況にもよるが、条件が揃えば今後も実施したいとのことから、周知等に協力したい。



**答 町長**

①校舎の改修や学校備品の購入等のために造林した学校林は、修道小学校のほか廃校の小学校6校合わせて10か所があり、小学校からは遠く離れており、いずれも国有林内で、ほとんどが杉、伐期を過ぎてもなかなか売れない状況となっている。

②町の学校林は国と町が契約を締結している分収造林なので、伐期が到来した分収木の販売は、国が立木のまま販売し分収する。

③分収の歩合は、10か所ある学校林のうち9か所は、国が2割で町が8割、1か所は国が3割で町が7割となっており、入札により落札した業者へ町が直接請求することになるので、町の歳入として処理される。



# わか町のここが聞きたい

## 問 寄附される8億円の使い道を提案

## 答 町総合計画に掲げる事業に活用する



やぎ ふみと  
**八木 史** 議員



**問 八木議員**

大型風車19基を建設したグリーンパワーインベストメント（以下「GPP」という。）が地域活性化等のため、令和6年度から毎年4000万円を20年間、計8億円の協力を町に寄附するに当たり、使い道として次の5つを提案するので、考えを伺う。

①現在の町の高等教育修学支援資金を一定の条件のもと（大学等卒業後地元就職した場合など）その返済を免除する給付型の奨学金の創設。

②町出身の大学生等へ年2回ほど、町の特産品を贈る支援事業の創設。

③抽選会付全町大売出し、プレミアム付食事券発行等への支援の定着化。

④5つの下水道処理区域があるが、加入率が41パーセント程度。特に北金ヶ沢地区は8パーセント、田野沢地区が47パーセント程度と半分にも達していないことから、加入促進を図るため、住宅リフォーム事業の下水道接続補助金を大幅に引き上げる対策。

⑤6次産業を目指す生産者が成功するよう、国・県等の各種支



援の情報提供など町のサポートが必要。

**答 町長**

①〜⑤GPPからの寄附金は、町の農林漁業及び地域の活性化に役立つことを目的としたもので、その使い道は、深浦町総合計画に掲げる事業に活用する。令和6年度の当初予算に計上した4000万円は、町の第3次深浦町総合計画等の策定に900万円、地域公共交通対策に1500万円、北金ヶ沢漁港の海水処理施設機器更新に200万円、町内大売出しに400万円、深浦宿泊キャンペーンに1000万円、合計4000万円を充当する予定としている。

したがって、提案の各種事業については、今後の参考にさせていただきます。

**問 八木議員**

①深浦駅の駅員が3月のダイヤ改正から不在となる。駅舎の利活用、観光客のためのトイレの維持管理等、考えを伺う。併せて、昨年9月定例会で質問した駅前の町有地の調査と活用等の考えは。

②一昨年の豪雨災害で被害を受けた、十二湖の森林セラピーロード等の現在の状況は。また、十二湖森林セラピー事業を今後如何にして進めていくのか。

③「ガンガラ六」は、知る人ぞ知る観光スポット。観光情報を発信するには渡し船が必要となるが、本気になって取り組む価値があると思うが考えは。

④十一湖に限らず冬の深浦観光は町を訪れる人が極端に減少する。一昨年からだんだんインバウンド需要も高まってきて、最近では、日本での体験に注目する傾向が強くなってきている。

深浦駅舎の利活用などの考えは

『JRと協議し利活用を検討する』

## 学校林の現状と伐採は

## 『伐期を過ぎても売れない状況』

**問 八木議員**

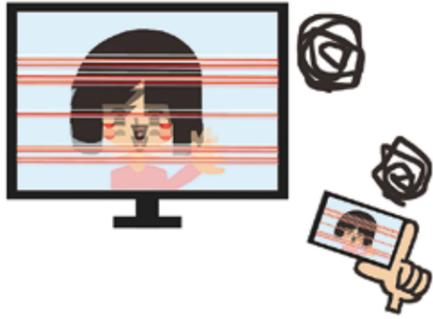
1950年代、学校の基本財産形成や生徒・児童の環境に関する教育・体験活動などを目的に、教職員や保護者を中心となって学校林を整備・保有してきた。そこで、次の3点について伺う。

①深浦町の学校林の現状は。

②伐期が到来した樹木の伐採は。

③伐採により得た財産はどのようなのか。

# わか町のここが聞きたい



る。従って、携帯電話会社と事業者との間で、影響調査の実施等について検討すべきものであると認識している。

②令和4年8月豪雨で路肩が崩落した町道北金ヶ沢1号線は、国による災害査定を経て、復旧工事に着手する予定であることに加え、道路地下に風力発電の送電線が埋設され、現状では仮舗装の状態である。今後、災害復旧工事の完成と併せ、送電線の埋設路面の本舗装を、本年5月までに実施することとしている。

**答 町長**

①環境影響評価(環境アセスメント)は、事業計画の立地選定から運転開始後の環境影響まで包括的に評価する重要なプロセスとなっている。また、地域住民の関係者ともコミュニケーションを図り、環境への配慮や課

**問 大川議員**

促進区域の指定を受けて、本県沖日本海南側海域に対し、発電事業者の公募が開始された。町を代表して法定協議会に出席している町長に伺う。

①環境影響評価は、専門家や第三者による評価が反映されるのか。

②漁業振興・地域振興がうたわれているが、わか町に恩恵はあるのか。

**『専門家等による評価も取り入れながら進められるのか』**

**日本海南側洋上風力発電に専門家などの評価は反映されるのか**

題に対する対話や意見交換も行われる。もちろん、関係省庁、地方自治体、事業者等の連携のもと検討するので、専門家等による評価も取り入れながら事業が進められる。

②今後、協議会の中で漁業振興策及び地域振興策について、具体的に検討されていくものと思われるので、当町においても恩恵はあるものと考えている。



**答 町長**

当町の沖合を想定した場合、水深の関係から浮体式の洋上風力発電設備が想定される。浮体式の洋上風力発電は、世界的に基礎の製造や輸送・施工の方法が確立していると言えない状況にあり、実用化に関しては、安定性を確保する浮体の動揺対策とコストの両立が課題として挙げられる。

当町は、青森県沖日本海南側の洋上風力発電事業で、ある程度の漁業振興策・地域振興策の恩恵は受けられるものと思われるので、今は、「青森県沖日本海南側」の洋上風力発電事業に集中して取り組むべきである。



写真はイメージです

# わか町のここが聞きたい

## 問 榊原地区の床上浸水を誘発した護岸の改修は

## 答 新年度に新たに側溝を整備する



質問者の動画が視聴できます。

おおかわ きよみつ  
**大川 清光** 議員



**答 町長**

①③床上浸水被害があった北金ヶ沢榊原地区は、過去にも床上浸水が発生した際に、河川の改良や海岸護岸の流末開口部整備をしたが、令和4年8月豪雨の際に床上浸水被害の発生を防ぐことができなかった。この度の被害を受けて、海岸護岸の流末開口部の改良について、管理者である県に対して相談・要望を行った。県からは、これ以上流末開口部を拡幅すること、あるいは、新たに開口部を設けることは、海岸護岸の本来の目的である、防潮・防波機能の低下が懸念されるため、町で他の方法を検討して欲しいとの指摘をいただいた。これを受けて町で

**問 大川議員**

①豪雨災害で床上浸水を誘発した護岸改修について、一昨年の9月定例会(決算に関する特別委員会)で早急に対応したいとのことだったが、まったく手つかずだがどうなっているのか。

②このまま4回目の浸水被害があった場合、町ではどういつ対応をするのか。

③住民に対して説明する考えはないのか。



▲外壁に残る浸水の跡

は、測量設計業者に依頼し、令和4年8月の降雨データによる排水経路等の調査、改良方策の検討を行った。その結果、既設の開口部へ効率的に雨水を誘導することで床上浸水被害を防ぐことが可能との助言を得たので、令和6年度当初予算に、住宅地から海岸護岸施設・流末開口部まで、新たに側溝を整備するための経費を計上した。当初予算の議決を経て、整備と日頃の維持管理の両面から浸水被害防止に対応するとともに、整備の内容を自治会に相談しながら周知に努めていきたい。

**洋上風力発電事業を招致する考えはないか**

**『青森県沖日本海南側の洋上風力発電事業に集中して取り組む』**

**問 大川議員**

交付税だよりの町の財政を補うため洋上風力発電事業を招致する考えはないか。

**『風力発電の建設によるものではない』**

**晴山地区の電波障害は風力発電建設が原因か**

**問 大川議員**

①晴山地区で、テレビや携帯の電波障害が発生している。風力発電建設が原因しているのではないかと。早急な調査・しかるべき対応が必要と思うが、町の考えを伺う。

②残土処理の土砂運搬時に壊れた町道はいつ修復するのか。

**答 町長**

①合同会社グリーンパワー深浦に確認したところ、テレビの電波障害は、風力発電の建設によるものではなく、近くの森林が影響しているようで、対象家屋のアンテナの設置位置を変えたら電波障害は無くなった。また、携帯電話の電波障害については本人から対象機種の手動電話会社に連絡して調査依頼をし、原因が調査されることになった。

# わか町のここが聞きたい



④県では、2024年度以降、県の基本計画「『青森新時代』への架け橋」で定めた7つのテーマに沿って、様々な施策に取り組むとしている。当町も、現行の第2次総合計画の5つの施策大綱に基づく27の施策はもとより、国、県、他市町村、企業、地域が連携しながら、新たな施策にも取り組み、地域の実情に応じた特色のある持続的なまちづくりを目指していく。人口減少が進む中で、医療、教育、交通などのサービスは、成り立たなくなることが予想されるが、発想の転換によっては、「過疎地域」ではなく「少人数社会」と前向きに捉えることも大事だと弘前大学大学院の地域社会専門の平井太郎教授がコメントしている。当町のような人口減少の激しい「過疎の町」では、町づくりを進める上で、こうした発想の転換も必要ではないかと考える。

**問 町長**  
 ①県土整備部によると、完成目標を2027年度（令和9年度）に設定したとのこと。工事完成後、必要な手続きを経て供用開始されると思われる。  
 ②③かねてから県に対してバイパス化の早期実現を働きかけてきた。国道101号は国や県が、

**問 今議員**  
 国道101号が津波や土砂崩れ等により車の通行が遮断される事態が起こり得る。そこで次の点について伺う。  
 ①追良瀬バイパスの早期完成が重要と思うが、いつの時点で供用開始となるのか。  
 ②岩崎バイパスの着工時期はいつ頃になるのか。  
 ③工事が思うように進展しないように見受けられる。進まない要因は何なのか。



▲早期開通が待たれる追良瀬バイパス



年次計画で改良工事を進めており、構想から着手、着工、完成まで、それぞれの段階に応じた手順、克服すべき多くの課題や予算措置が必要となる。県では、こうした事情により、岩崎バイパスの着工時期については、現段階で言うことができないとのことをご理解いただきたい。

## 防災訓練がマンネリ化、防災意識の向上を

### 『より実践に近い訓練で防災意識の向上につなげたい』

**問 今議員**  
 日本海側想定地震による津波は、深浦町で最も早い到達で6分、津波だけで6700人の死者が想定される。町では毎年5月に防災避難訓練を実施しているが、マンネリ化傾向に思える。高齢者や弱者に対する避難対策や体制等について、防災意識の向上が求められるが、どう対処するのか。

**答 町長**  
 避難場所・避難路や防災行政無線の整備などに加え、防災意識の啓発、円滑な避難行動など、津波対策を進めるため、平成30年3月に「深浦町津波避難計画」を作成した。また、最大クラスの津波が発生した場合の浸水想定区域、津波到達予想時間等が県から示され、津波第一波到達時間が一番早い地区で船作地区の6分、次に横磯地区の7分、深浦本町9分など、かなりの早い到達時間となっており、4360人の死者・負傷者、5300棟の建物全半壊数と想定している。また、「日本海中部地震」の発災日を「深浦町防災の日」と定め、毎年、防災訓練を実施している。この訓練で、1番大事なのは、地震が発生したら津波が来るという意識を持ち、いち早く高台に避難し、まずは命を守ることに考えている。今後は、各地区の自主防災組織等が高齢者や要配慮者等を前線で避難させる訓練や、停電時の避難所運営訓練など、より実践に近い訓練を取り入れたい。

# わか町のここが聞きたい

## 問 人口減少を食い止める対策や取組は

### 答 地域が連携し、持続可能な社会を築くために取り組んでいく



こん 今 かつ よし 勝吉 議員

**問 町長**  
 ①人口減少対策は、もはや一つの自治体単体では解決できない問題。子育て支援の充実策、労働環境の改善策、地域活性化と移住促進策、教育・就労環境の改善策等々、これらの施策を総合的に展開することが重要と思われる。国、県、市町村、企業、地域が連携し、持続可能な社会を築くために取り組んでいくこ

**問 今議員**  
 人口減少を食い止める次の対策や取組について伺う。  
 ①若い世代が流出する要因は、地元で働く場がないからで、雇用対策、後継者対策が最優先と考えるが、そのためには、魅力ある思い切った町独自の異次元の支援策を進めるべきと思うが。  
 ②若い世代の流出を防ぎ、移住しやすい環境づくりの取組は。  
 ③人口動態（自然動態・社会動態）の現状と今後の見通しは。  
 ④東奥日報2月12日付で2050年の県内各自治体の推計人口が掲載された。今後の長期的な視点に立った実効性のある町の針路、方向性、また、町の将来像は。

とが必要であると考えます。  
 ②令和6年度の新規事業として、県外から移住してきた子育て世帯が、医療・福祉施設等で資格に基づく業務に就業した者、または、医療・福祉職の資格取得を目的に養成機関に就学した者を対象とした、基本額100万円円の県の移住支援事業を実施する。このほか、五所川原圏域空き家バンクへの物件登録を進める、補助金や物件の成約を促す奨励金等も新年度予算に計上した。また、若者等の定住促進のために実施している家賃補助や住宅整備補助金、さらに新規労働者を雇用した町内事業者に対しての雇用奨励金、就労者の能力向上と地元定着を図るための資格取得支援は、引き続き来年度も実施する。  
 ③国勢調査が実施された令和2年度、自然減と社会減を合わせて234人が減った。令和3年度は、251人の減。令和4年度は、244人の減。令和5年度は、161人の減。また、今後の人口の見通しとして、令和7年（2025年）では、6244人、令和12年（2030年）では、5278人、令和32年（2050年）では、2547人となっており、令和2年（2020年）と比較すると、4799人の減となる見込み。



※1 自然減=出生者数から死亡者数を引いた数  
 ※2 社会減=転入者数から転出者数を引いた数

# わか町のここが聞きたい

**問 町長**  
 当町としても、資源としての持続的利用を図りながら、森林の適切な整備・保全を進める必要がある。しかし、木材価格の低迷と森林所有者の高齢化や経営意識の低下から、間伐等の手入れがされてない森林が多く見られる。今後は、木材利用も促進し、新たな雇用機会の創出や起業促進などを目指すが、そのためには、町内での木材需要の

**答 町長**  
 当町でも、間伐が必要な山林が多数見られる中、森林整備の補助事業の活用と合わせて間伐材を利用することで所有者の負担軽減や収入の確保、さらには雇用対策にもなり得ると思うことから、木質バイオマスとしての活用を考えられないか。

**『調査・研究して活用を検討したい』**  
**森林で収入や雇用対策に木質バイオマスの活用を**



(株)大仙バイオマスエナジー 木質バイオマスエネルギー施設 (最上町)  
 ▲昨年、行政視察したようす

拡大が欠かせないことから、木質バイオマスエネルギーとしての活用も検討項目としている。木質バイオマスの熱利用には、木材の供給体制や、木質ボイラーの導入や維持の経費など、活用までには十分な検証が必要だが、今後、その活用機会は増えると思うので、先進事例を調査・研究しながら、木質バイオマスの活用を検討したい。

**問 町長**  
 ①昨夏、開催した深浦町海上花火大会が、町内外からたくさんのお好評を頂戴した。そういった声を踏まえて、引き続き開催するため新年度の当初予算に計上した。計画の内容は、まず実行委員会を立ち上げ、その後、民間の力も生かすような計画の立案に取り組んでいく。

**答 町長**  
 ①昨夏、開催した深浦町海上花火大会が、町内外からたくさんのお好評を頂戴した。そういった声を踏まえて、引き続き開催するため新年度の当初予算に計上した。計画の内容は、まず実行委員会を立ち上げ、その後、民間の力も生かすような計画の立案に取り組んでいく。



**『実行委員会が計画の立案に取り組む』**  
**今年も花火大会の計画はあるのか**

②昨年度いくつかの地域で行われており、いずれも民間事業者や団体、有志団体が実施していたよつで、笑顔溢れるイベントだと伺っているが、町が主導して開催する予定や、新年度において町が主催する計画はない。



# わか町のここが聞きたい

## 問 町長の最終年度町の基本姿勢は

**答 豪雨災害の復旧を最優先し、誘客促進を図る**



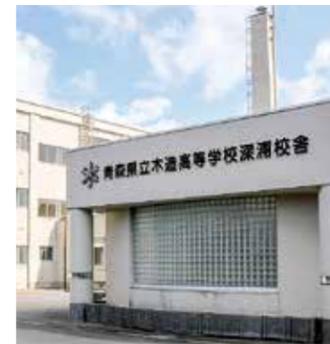
く どう ひろ とし  
**工藤 博利** 議員



質問者の動画が視聴できます。

**問 工藤議員**  
 ①本年度が、町長の町政運営の最終年度となるが、町の将来を含めた基本姿勢を示してほしい。  
 ②4期16年間、町のかじ取りをしてきたので集大成としての事業を残すべきと思う。新規事業の構想、計画が有るのか。  
 ③町長のもとで、ゆとりの風呂、椿山温泉と閉館となった。令和5年度の町民アンケート調査結果を見ると風呂、温泉の再開を望んでいる。町民の要望にこたえることも大事かと思うが考えを伺う。

**答 町長**  
 ①新年度は、2年連続で豪雨災害を受け被災した道路や河川、農地や農業用施設の復旧を最優先とする。また、白神山地をはじめとする当町の観光資源、文化資源の魅力を広く発信して、インバウンドを含めて、一層の誘客促進を図っていく。私は、町長就任以来一貫して、第1次産業の振興、子育て支援の充実、移住・定住対策、集落の活性化、地域医療の充実、道路等インフラの整備、町財政の健全化などを掲げており、それは現在も変



わらない。  
 ②これまで、色々な施策、事業を実施してきた。集大成としての事業を残すべきということだが、必ずしも集大成としての事業を、とは考えてない。追良瀬ハイパス、岩崎ハイパス、西津軽能代沿岸道路の整備促進は、地域の活性化や災害対策として必要不可欠なものと考えているし、豊富な森林資源を生かした木質バイオマスエネルギーの活用も進めていきたい。これから実施する事業としては、旧県立木造高校深浦校舎に、老朽化した公民館、文学館、資料館を集約し、生涯学習の拠点として活用する方向に加えて、図書、スポーツ、子どもが集える遊びの場、ふれあいと賑わいの場として整備を進めたい。私としては、残りの任期を精一杯、全力でまっする所存です。



③令和6年度から新たな体制で運行するコミュニティバスや弘南バスの地域公共交通により、町内では不孝心死温泉と深浦観光ホテルの御協力で、町民が温泉施設を利用できる予定としている。また、これまで弘南バスのICカード（メゴイカ）で町内の全区間を1乗車100円で乗降できたのが、さらに令和6年度以降は、弘南バス・深浦線全区間（鱈ヶ沢営業所〜弁大）を1乗車100円で乗降できるよう変更する予定である。これにより、大戸瀬地区の方も、鱈ヶ沢町の温泉施設へ移動が1回100円で利用できるようになる。

# わか町のここが聞きたい

②気候変動における農業への「影響」と「適応策」については、「青森県気候変動適応取組方針」に水稲、野菜における「影響」と「適応策」が列挙されている。県では大雨や強風などの気象情報を農業者へ速報するため、県ホームページに「臨時農業生産情報」を逐一掲載するとともに、その気象情報に基づいた対策を示しており、あわせて、猛暑による水稲の適期刈取りを呼びかけるなど、専門的見地からの技術的指導や助言を行っているほか、農業改良普及員による巡回や現地指導なども行われている。当町には、県のよつな専門職員がいないため、異常気象に対応した技術的指導を町単独で行うことは困難ですが、県が発信する農業生産情報の周知徹底を図るとともに、県や農協と連携して気候変動に適応するための研修会を開催するなど、町としてできる限りの対策を実施していきたい。

③水温や海流などの海の状況や、いしづきなどのよつな魚が取れているかといった「漁海況情報」は、漁業活動に有用な情報で、町や各漁協にも県から情報提供されているので、有効活用



を図っていく。また、町としても、来遊魚種の変化の把握及びその荷受けから流通までのシステム構築や、漁場環境の保全に向けた岩盤清掃及び藻場造成試験、高水温に適応した増養殖技術の調査研究など、すでに実施している事業も含め、県や試験研究機関、漁協など関係機関と連携・協力しながら、海水温の上昇に適応した漁業振興策を考えていきたい。

**問 町長**  
 当町では、他の市町村に先駆けて、平成23年7月に業務継続計画を策定し、以降、毎年4月に加除、修正等を加えている。計画の内容は、国が定める重要6要素のほか、「職員の参集体制」と「受援体制の確保」の2項目を加え、災害時に特に必要な8要素を盛り込んだ計画となっている。

**答 町長**  
 一つ目は「町長不在時の明確な代行順位」、二つ目は「職員の参集体制」、三つ目は「本



**問 藤田議員**  
 業務継続計画の策定率は、市町村は依然として低く、特に人口の少ない市町村ほど低い傾向が見られる。そこで、業務継続計画の有無と重要な項目について伺う。

**『他の市町村に先駆けて策定している』  
 業務継続計画の有無と重要な6項目とは？**

庁舎が使用できなくなった場合の代替庁舎の検討」、四つ目は「庁舎、代替施設のインフラ及び職員用食料等の確保」、五つ目は「災害時にもつながりやすい多様な通信手段の確保」、六つ目は「重要な行政データのバックアップ」、七つ目は「非常時優先業務の整理」、最後の八つ目は「受援体制の確保」である。各項目の中には計画とおりを実施することが困難なものもあるため、今後も課題の改善を図りながら、災害時に確実に業務継続が実行できる体制づくりに努めたい。

## スマートフォンなどで手軽に定例会がご覧になれます

スマートフォンやタブレットのアプリ等を使い議会だよりに掲載しているQRコードで読み取ると、定例会等の録画映像が簡単に視聴できます。ぜひ、ご利用とチャンネル登録をお願いします。



YouTube「深浦町議会チャンネル」

# わか町のここが聞きたい

## 問 地域気候変動適応計画の有無と必要性は

**答 県内で策定している市町村はないが、策定は必要**



質問者の動画が視聴できます。

ふじ た かず のり  
**藤田 一則** 議員



**問 藤田議員**  
 ①近年、異常気象が頻発し甚大な災害に見舞われている。今後も、極端な高温や大雨などが更に増加すると予測される。現在、都道府県47件、政令市21件、市区町村190件が「地域気候変動適応計画」を策定している。気候変動に対する現状認識、「地域気候変動適応計画」の有無と必要性を伺う。

②県では、気候変動の影響と適応策がある。夏季高温、集中豪雨被害などによる水稲・野菜栽培などについて、町でも研修会や生産情報で指導を徹底すべきと思うが今後の対策等、計画があるのか。

③当町もICT活用による漁獲量に関する情報収集・分析し、漁業者へ提供する。また、高水温等により減少した海藻や磯焼けなどを科学的知見による情報を県と共有する必要があるかと思うが考えを伺う。

**答 町長**  
 ①気候変動のリスクを小さくするため、温室効果ガスの排出量を削減する「緩和策」に全力で取り組むことはもちろん、既



に現れている気候変動の影響や将来予測される影響による被害を回避・軽減する「適応策」の取組を進めて行くことが重要である。地域気候変動適応計画は、その区域における自然的、経済的、社会的状況に応じた気候変動適応に関する施策を推進するための計画で、国は、地方自治体に対し、策定することを努力義務としている。県内の自治体で地域気候変動適応計画を策定している市町村はないが、町としては、地域の実情を踏まえた気候変動適応計画の策定は必要だと考えている。今月、策定される予定の「西つがる3市町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」による「緩和」と併せて推進していく必要があるため、今後、西つがる3市町で策定していくべきなのか、あるいは、単独で策定すべきなのかを関係機関と協議しながら策定に向けて検討していきたい。



# 議員定数1人削減決まる！ 12人⇒11人

## 令和9年4月の一般選挙から適用

議員定数については、昨年9月定例会で議員定数検討特別委員会が設置されました。適正な定数について、今後の人口動態、類似団体との比較、地理的条件等を考慮し検討した結果、定数を削減するべきとの意見が多かったこと、削減については、1人減、2人減の2つの案が出たこと、そしてこの案を全員協議会で報告したところ、削減することで意見は一致したが、削減する人数は決まらず、最終的には特別委員会に委ねられ、2月16日に開催した当該委員会で、1人減の11人に決定した経緯を定例会初日に、今委員長から報告があり、1人減にすることの採決を取った結果、賛成多数で決定しました。

これにより、3月定例会最終日に、議員定数を削減する（12人→11人）条例の一部改正案が、議員発議で提出され、異議なしで可決されました。



### 議員研修会 議員としての基礎力を養う！

議員のさらなる資質向上のため、令和5年12月19日に株式会社廣瀬行政研究所 代表取締役 廣瀬 和彦 氏を講師にお迎えし、「地方議員として理解しておくべき基本的事項やハラスメント防止、効果的な質問手法と政策形成への活かし方」をテーマにご講演いただきました。研修では、議員としての役割やコンプライアンス、住民の期待に応える質問手法について学びました。



### 閉会中の委員会等

第130回定例会終了後、第132回定例会までの間に開催した委員会等は次のとおりです。

- 1月24日（水） 議会運営委員会
- 1月29日（月） 議会広報編集委員会
- 2月15日（木） 総務文教常任委員会  
産業建設常任委員会
- 2月16日（金） 議員定数検討特別委員会
- 3月 4日（月） 議会運営委員会  
全員協議会

### 永年勤続議員表彰 おめでとうございます

青森県町村議会議長会の定期総会において、地方自治に永年貢献された町議会議員に対して表彰が行われます。令和5年度は、藤田一則議員が在職27年以上の全国町村議会議長会表彰を受賞されました。



藤田 一則 議員



### 表紙写真 紹介

### 追良瀬川サケ放流式 に伺いました

4月18日に追良瀬内水面漁業協同組合で養殖したサケの稚魚を、追良瀬川に約10万匹放流しました。参加した地元保育園児や小学生が「大きくなってね」などの声をかけながら、バケツからそうっと稚魚を放していました。今春は、約211万匹を放流しました。



### 題字を書いてくれた人



# ふかうら

今号から、町民参加ということで、表紙の題字「ふかうら」を町内の小中学生に書いていただきました。

題字に選ばれて、とても嬉しいです。久しぶりに平仮名を書いて漢字より難しかった！自然がいっぱい地域の人が温かい深浦町が大好きです！

大戸瀬中学校1年 <sup>しま</sup> <sup>りん</sup> 島 凜さん  
(北金ヶ沢書道教室)